➤ 目黒本町六丁目公園（仮称）整備事業について

○目黒本町六丁目周辺の課題

みどり・環境面

- ✓公園・みどりが不足
- ✓みどりの充実と日常的に利用できる公園が必要

防災面

- ✓木造住宅密集地域
- ✓避難地として活用可能なオープンスペース（公園）の整備が必要

- ✓「**目黒本町六丁目21番10号**」の土地を**公園用地として取得**
- ✓地域の**防災性**及び**生活環境の向上**を図る

○計画地の位置

➤ 公園整備の全体スケジュール

令和6年度

第1回検討会 6月1日（土） 済
- ➢計画地の概要・周辺地域の特徴等の説明
- ➢**整備方針**についての意見交換

アンケート調査 6月 済
- ➢公園整備への要望や欲しい施設等のアンケート調査の実施

第2回検討会 7月28日（日） 済
- ➢アンケート結果のご紹介
- ➢具体的な**導入施設**についての意見交換

第3回検討会 9月25日（水） 9月29日（日）
- ➢第1回・2回検討会結果に基づく**イメージ平面図**及び3Dイメージの提示

※オープンハウス形式で、平日と休日の各1日ずつ計2日開催。

令和7年度

設計作業
検討会の結果を基に設計内容をとりまとめます

工事
令和7年度中開園

➢ 現況図

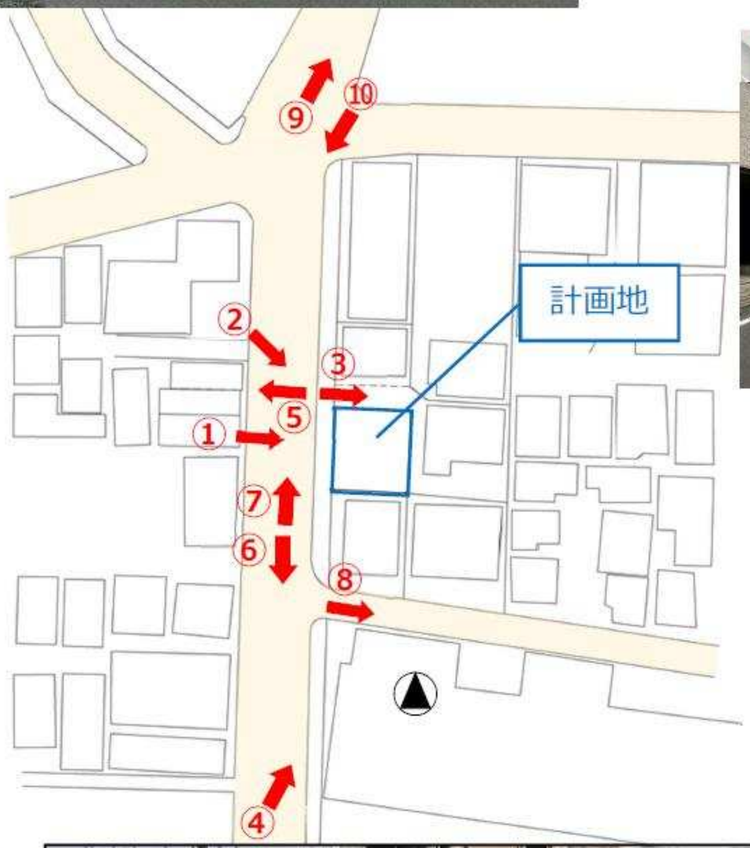
⑨

⑩

⑥

③

②
切り下げ
(3.6m)


⑨
⑩
計画地
②
③
⑤
①
⑦
⑥
⑧
④

⑦

①
切り下げ
(3.6m)

⑧

⑤
バス停

④
バス停

計画敷地前の施設類
電柱
消火器
標識
交通設備

➢ 周辺地域の特徴 ①　：　周辺公園の状況

⑦ 清水池公園（5,797.95m²　計画地からの距離：450m）

- ✓ 池や広場、遊具、流れ、休憩施設と満遍なく施設が配置
- ✓ 区内で唯一、釣りが楽しめる
- ✓ グリーンクラブの活動あり
- ✓ バリアフリートイレ、防火水槽、防災用井戸、町会用防災倉庫あり

⑥ 向原町児童遊園（683.30m²　計画地からの距離：380m）

- ✓ 縦長の敷地形状の児童遊園
- ✓ 幼児用遊具（小型複合遊具、ロッキング遊具、砂場）と小広場を備える
- ✓ トイレあり（一人用）
- ✓ 防火水槽、災害時用トイレあり

① 向原西街かど公園（208.72m² 計画地からの距離：180m）

- ✓ ベンチと小広場のシンプルな公園
- ✓ グリーンクラブの活動あり（ボランティアによる花壇の手入れ）
- ✓ 防火水槽、町会用防災倉庫あり

⑤ 目黒本町六丁目街かど公園（仮称）（545.41m²　計画地からの距離：300m）

- ✓ 草原の健康広場とパーゴラのある公園
- ✓ バリアフリーのトイレあり
- ✓ 防火水槽、かまどベンチ、防災学習スツール、町会用防災倉庫あり

※令和6年度中に開園予定
所在地：目黒本町 6-10-1

③ 原町児童遊園（439.66m²　計画地からの距離：400m）

- ✓ 道路と高低差があり、階段とスロープの出入口
- ✓ 一定数の遊具（小型複合遊具、すべり台、ロッキング遊具など）を備える
- ✓ トイレあり（一人用）
- ✓ 防火水槽、マンホールトイレ、防災学習スツールあり

② 原町タンポポ公園（221.23m²　計画地からの距離：380m）

- ✓ ベンチと小広場のシンプルな公園
- ✓ グリーンクラブの活動あり（ボランティアによる花壇の手入れ）
- ✓ 防火水槽、町会用防災倉庫、マンホールトイレあり

④ 向原おもだか児童遊園（451.21m²　計画地からの距離：250）m）

- ✓ 幼児用遊具（小型すべり台、ロッキング遊具、砂場）と小広場を備える
- ✓ 道路を挟んで原町保育園の向いに位置する
- ✓ トイレあり（一人用）
- ✓ 防火水槽、防災学習スツール、町会用防災倉庫あり

計画地周辺の特徴

- ✓ 小規模な公園が多い
- ✓ 碑文谷地域で公園が不足
- ✓ 学校や一定数の保育施設が周辺に位置する

➢ 周辺地域の特徴② ： 公園・いきもの・みどり の概況

●周辺地域の公園の概況

	一人あたり 公園面積（※１）
目黒本町四丁目	0.08m²／人
目黒本町六丁目	0.46m²／人
碑文谷一丁目	0.18m²／人
目黒区全体	1.74m²／人
計画目標	2.00m²／人

※1 一人あたり公園面積
＝対象地域の公園面積 ÷ 対象地域の人口
（公園の整備目標の目安となる）

➢計画地周辺地域では、区全体と比較して公園が少ない傾向にある

●周辺地域のいきものの概況

	生物確認種数 （※２）
目黒本町四丁目	1種
目黒本町六丁目	3種
碑文谷一丁目	7種
目黒本町二丁目 碑文谷二・四丁目	11種以上

※2 生物確認種数
指標種18種のうち、地域で確認された生物種数

➢11種類以上と多くの生物種が観察されている地域もある

➢計画地周辺地域、特に目黒本町で生物の確認種数が低い傾向にある

●周辺地域のみどりの概況

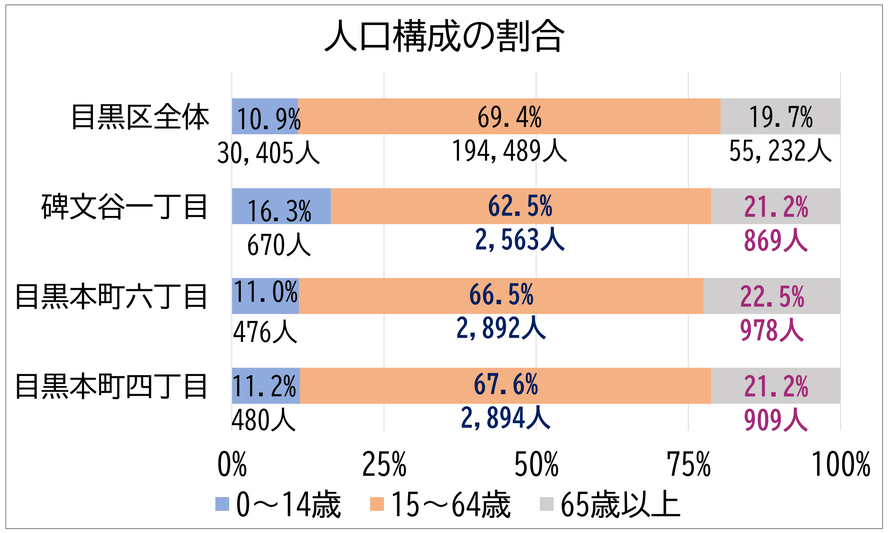
	緑被率 （※３）
目黒本町四丁目	9.2%
目黒本町六丁目	7.7%
碑文谷一丁目	13.4%
目黒区全体	17.0%
計画目標	20.0%

※3 緑被率
一定地域の中で、上空から見て芝や樹冠など緑で地上が覆われた面積が占める割合

➢計画地周辺地域では、区全体と比較して緑被率が低い傾向にある

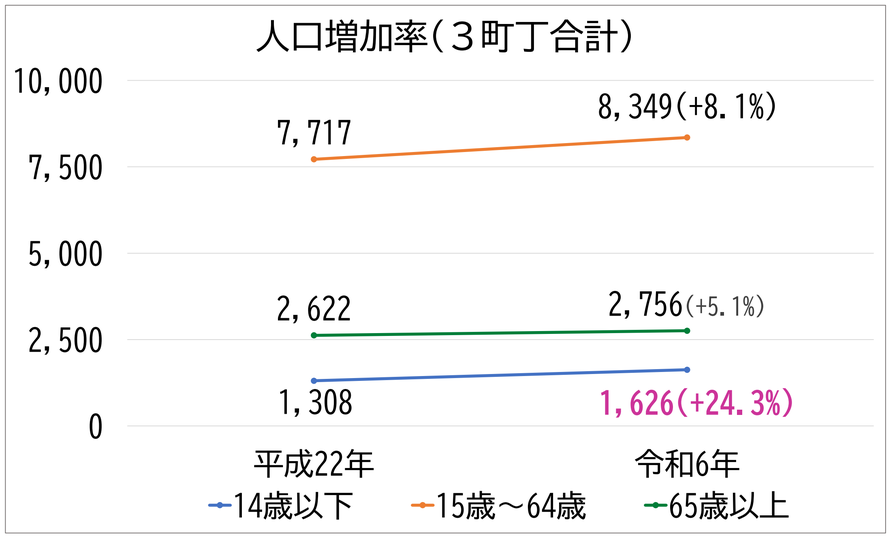
➢ 周辺地域の特徴③：周辺地域の人口、地域の防災面、街づくりの方針

●周辺地域の人口



➢区全体と比較して、生産年齢人口は低く、老年人口は高い

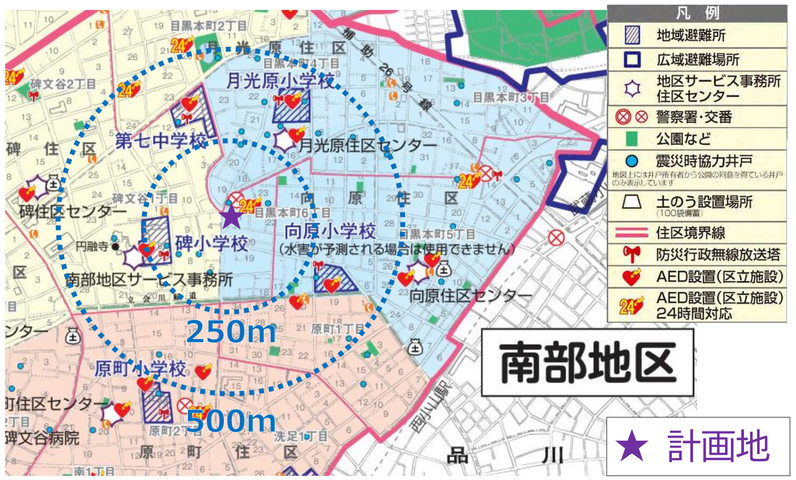
➢碑文谷一丁目では、年少人口も高い



➢平成22年度時と比較して全体的に増加

➢特に年少人口（14歳以下）の増加率が大きい

●地域の防災面



➢目黒本町六丁目周辺は、木造住宅密集地域である

➢地域避難所（小中学校）は、500m圏内に4箇所が位置している

➢公園不足地かつ小規模公園が多く、災害時の一時避難地は少ない

●街づくりの方針

➢目黒区都市計画マスタープラン　（将来都市像やまちづくりの方針を示す）

✓地区別の将来都市像（南部地区）

「**安全・安心な環境**で、**子どもから高齢者**まで様々な人に住みよいまち」

✓防災まちづくりの方針

「**防災性**を備えた良好な**住環境**の整備」「**地震や火災に強い**環境整備」

➢目黒区生物多様性地域戦略

（生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する目標・方策を示す）

✓目標　「**みどりの風景**をまもり、**いきものにやさしさのある環境**をつくります」

✓方策　「**エコロジカルネットワーク**※の形成」、

「**『まちの樹林』**の取り組み」（いきものの生息・生育に配慮した公園の整備）

※エコロジカルネットワーク：いきものがすみ、移動できる緑地を効果的に配置した緑地のネットワーク

➢目黒区みどりの基本計画　（みどりの保全・創出に関する目標・施策などを示す）

✓基本方針

「**多様なみどり**をつないでひろげていこう」「暮らしに潤いを与える**みどりの拠点**をきずこう」

✓施策の方向性

「**みどりのネットワーク**形成」「**公園・緑地等の整備**」

➢ 周辺地域の特徴④： まとめ

周辺公園

✓**小規模公園**が多い

✓**公園不足地**である

みどり・環境

✓計画地周辺地域は、
緑被率が低い

いきもの

✓**生物確認種数が少ない**

人口

✓**65歳以上**の**人口割合**が**高い**

✓**14歳以下**の**人口増加率**が**高い**

防災面

✓**木造住宅密集地域**

✓災害時の**一時避難地が少ない**
（公園等のオープンスペース）

街づくり

✓**安全・安心**、**防災性**

✓**みどりのネットワーク**、
公園・緑地等の整備

✓**エコロジカルネットワーク**
の形成、**いきものの生息・生育**に配慮した公園の整備

➢ 第１回検討会の結果

日　　時：令和６年６月１日（土）１０：００～１１：３０
場　　所：月光原住区センター(目黒区目黒本町四丁目１６番１８号)
参 加 者：１３名

✓計画地の概要及び地域の特徴と、区が考える整備の方向性を説明
✓これらをもとに公園の整備方針について意見交換

意見はふせんにまとめ、グループ分け

意見交換の様子

●主な意見

グループ	意見内容	キーワード
みどり	・小さくてもいいので、ビオトープ的ないきもの ・みどりを意識した部分があるといい ・ビオトープは水が必要なので整備や維持管理が難しいのではないか ・実のなる木は、鳥がくるのは良いがカラスがくるのは困る	【みどり・いきもの】
	・植栽は子どもが隠れない高さに	【安全・安心(防犯)】
	・避難時の邪魔になるので、公園の真ん中に植えない	【安全・安心(防災)】
	・落ち葉の少ない植物にしてほしい　・花苗の管理は無理 ・花苗の管理は誰がやるのか(グリーンクラブをやりたい人がいれば) ・植栽について、老人クラブのボランティアや町会のグリーンクラブ共に年配で、なるべく負担のかからない植栽にしてほしい	【維持管理】
公園の使い方	・休憩のみにつかう　・安全で安心して利用できる公園 ・高齢化が進む中、ゆっくりとくつろげる公園になってほしい	【利用イメージ】
	・たまり場にならないか、保安対策は　・犬が入れるか ・イベント等を開催した場合の騒音対策は ・ボール遊びはやめて欲しい　・禁煙 ・自転車でこないでほしい　・キャッチボールができないように	【マナー・ルール】
施設	・防災倉庫(備蓄)、ドローン、マンホールトイレ、かまどベンチがほしい	【安全・安心(防災)】
	・カメラ(防犯)はつけられるか	【安全・安心(防犯)】
	・敷地が狭く遊具は必要か ・面積や防災面から考えシンプルなみどりとベンチ ・照明 、時計、トイレ、水飲み場、ゴミ箱がほしい	【具体的施設】
その他	・向いにバス停があり、出入口部の安全対策が必要 ・横断歩道がないので、道路の乱横断がでないような対策が必要	【安全・安心】
	・建物の解体や防火水槽の掘削等の振動や騒音に配慮が必要 ・公園整備の予算・費用はどのように想定されているのか	【その他】

✓利用イメージとしては、敷地が小さいためベンチやみどりなどのシンプルなつくりが望まれている
✓防災関連施設の要望や避難時に適した施設配置、前面道路の横断など、安全・安心に関する意見が多い
✓公園利用のマナー・ルールに関してや、利用時や工事中の近隣への影響を気にする意見が多くみられた
✓みどり・いきものも望まれているが、維持管理面を配慮する意見もみられた

➢ 第２回検討会の結果

日　　時：令和６年７月２８日（日）１３：３０～１５：００
場　　所：月光原住区センター(目黒区目黒本町四丁目１６番１８号)
参 加 者：８名

✓第１回検討会意見とWEBアンケートの結果から、コンセプト案とゾーニング案を説明

✓これらをもとに具体的な導入施設について意見交換

ふせんにまとめた意見

成果(施設配置例)

●主な意見･施設

項目	施設	意見
防災	かまどベンチ、防災倉庫 防災解説パネル、防火水槽 防犯カメラ、園内灯	・かまどベンチは火を使うため、水飲みの近くに配置するとよい。
遊び	ロッキング遊具、鉄棒	・他の施設に影響が少ない端の方に配置するとよい。
みどり	落葉の少ない樹木、花壇 日よけ目的の木 季節感のある樹木	・水分を多く含む防火機能の高い樹木があると、防災にも役立つと思う。
エントランス	車止め	・見通しを考慮し、出入口は２箇所がいい。 ・車いすの出入りも考慮したい。
その他	ベンチ、屋根付きベンチ パーゴラ 水飲み、園内灯（時計付）	・園内灯(時計付)は、盤面が見やすいように真中奥に配置する ・屋根付きベンチは、日よけとして休めるのがいい。 ・木製でボロボロの施設もあるため、長持ちする素材がよい。

意見交換の様子

✓区で示したゾーニング案と施設配置例とは、概ね一致していた

✓防災関連施設の意見が多く、防災面の関心が高い

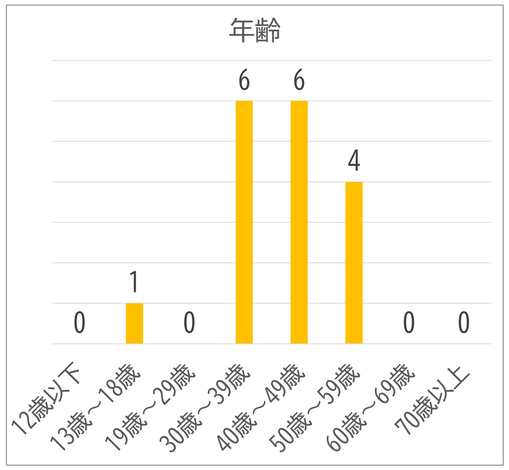
✓遊具は意見に挙がった特定のものだけでなく、他の施設に影響のない配置であれば問題ない

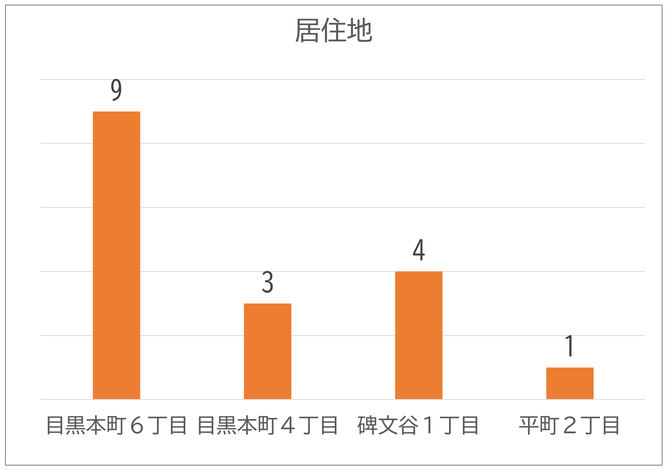
✓見通しを考慮した出入口や、園内灯（時計付）の見やすい配置、長くつかえる素材など、誰もが使いやすく、且つ、長く使える事が望まれている

➢ WEBアンケートの結果　＜一部抜粋＞

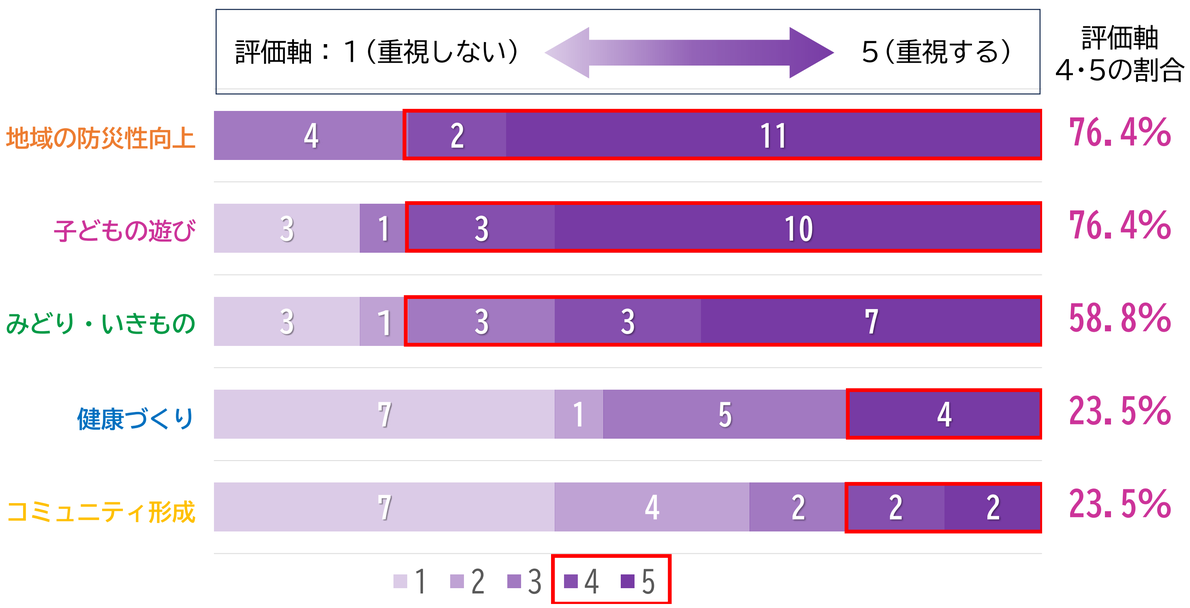
概　　要　：　公園で重視してほしい点や導入してほしい施設などに関するアンケート調査
調査方法　：　WEBアンケート方式
回答期間　：　令和６年６月１９日（水）から７月４日（木）
回　答　数　：　１７

● 回答者について

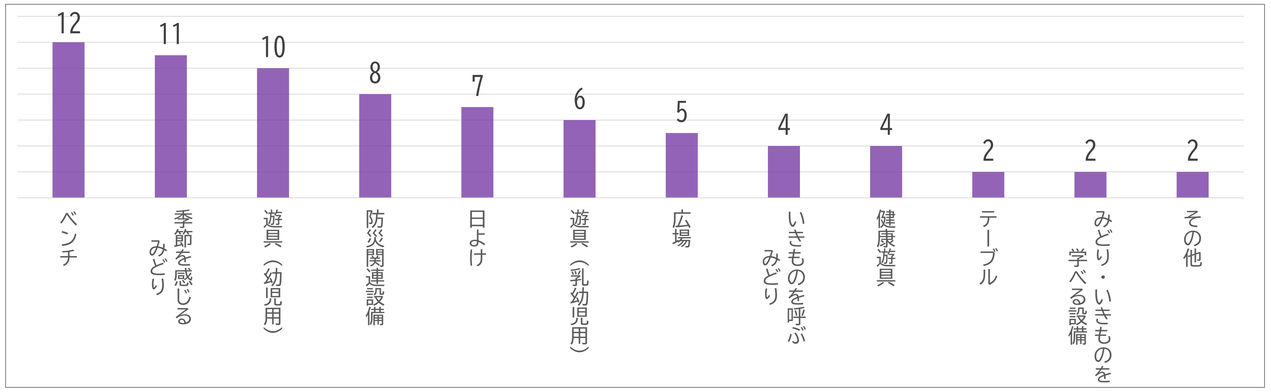




● この公園で重視したいこと



●公園に欲しい施設　※複数回答



●自由意見の紹介

意見	意見種別
・生き物と触れ合える公園がいい	【みどり･いきもの】
・地域住人が当事者意識をもって大切にする場所になるといい	【利用イメージ】
・本計画の様な小規模の公園をより増やしてほしい ・キャッチボールのできる公園を増やしてほしい ・ネットを高くしてボール遊びができるような環境があってもよく、子供が遊べる環境が望ましい ・バス通り沿いの公園なので、ボール遊びができてしまうと危険 ・遊具を置おかず、子どもが自ら考えて遊べるシンプルな空間になることを望む	【利用イメージ(遊び)】
・大通りに面しているので子供が飛び出さないように入り口をとおりに面していない部分につくってほしい ・車道が近いので、子供が飛び出しにくい出入口になると安心する	【安全･安心】
・土地が狭く無理に公園にするよりもデベロッパーに売り、利益を得る方が良い ・住宅に囲まれ広さが確保できないため、防災用具の設置くらいではないか ・防災設備の充実を期待する ・防災井戸や地下貯水槽を整備し災害に備えられるとよい ・木密地域のため、特に火災に対する消火設備がほしい	【安全･安心(防災)】
・遊具などの設備を充実させて、ボール遊びができないように広場を狭くしてほしい ・ベンチがあるとよいが、喫煙者、アルコール飲酒が起きないように対策は必要 ・近隣の公園にない鉄棒などの遊具を選定してほしい ・倉庫などの劣化し汚らしくなるものは設置しないでほしい	【具体的施設】
・樹木が成長しても干渉しない本数とすることで管理コストの抑制に繋がる ・ボランティアありきの手がかかる植物は不要	【維持管理(植栽)】

●検討会とアンケート結果のまとめ

- ✓ 防災面等の「安全・安心」と「みどり・いきもの」に関する点が共通している。
- ✓ 検討会では計画地の規模から遊具を置かないという意見もあったが、アンケートでは、本公園整備で「子どもの遊び」を重視する意見、遊具（幼児用）を設置してほしいという意見もあった。
- ✓ 具体的な施設でも「防災関連施設」や「ベンチ」、「みどり」が共通して多数の意見して挙げられていた。

➢ コンセプト・整備方針・ゾーニング案

✓第1回検討会とアンケートの結果、地域の特徴をもとに、公園のコンセプト・整備方針を検討

【公園のコンセプト案】

人と人　人とみどりをつなぎ　地域をまもる公園

【公園の整備方針案】

防災×遊び

シンプルなつくりながら、防災と遊びの機能を備えた空間とする

✓敷地が小規模なため
シンプルなつくり
✓防災と遊びどちらも重視

➢ 一時避難が可能な小広場の確保
➢ 防災関連施設の導入・防災意識の醸成
➢ 災害時の延焼防止に寄与する一定量の植栽

小広場イメージ

植栽イメージ

みどり×いきもの

季節の移ろいの中で、身近なみどりやいきものに親しむことができる

✓検討会とアンケートともに
みどり・いきものを重視
✓目黒本町六丁目周辺地域は
みどり・いきものが不足

➢ みどりの「質」と「量」の両面の充実を図る

＜みどりの量＞
✓ 緑化基準（一定面積以上の植栽の導入）を満たす緑量を確保

＜みどりの質＞
✓ 四季の移ろいを感じる豊富な樹種を揃える
✓ 災害時の延焼防止、近隣敷地との緩衝帯などの機能性
✓ 生きものを誘引する樹木など、生物多様性に配慮

ユニバーサルデザイン × 安全・安心

地域の中にいる多世代が共に利用し、安心して憩える場とする

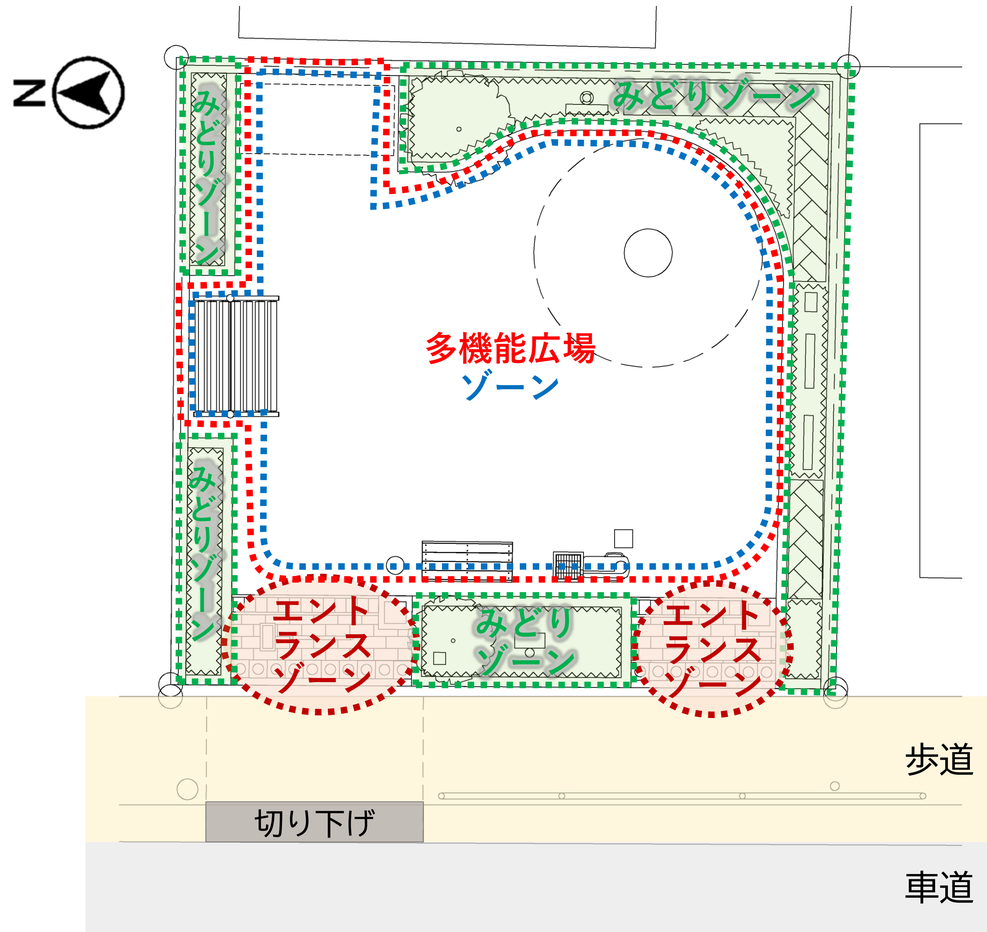
✓目黒本町六丁目周辺地域は
65歳以上の人口割合が高い
14歳以下の人口増加率が高い
✓バス通りに面しているため
安全対策に配慮

➢ 子どもから高齢者まで、誰もが利用しやすい設備や施設の導入

＜公園内のユニバーサルデザイン例＞
✓ ゆとりのある出入口幅（90cm以上）　✓ 緩やかな園路勾配（4%以下）
✓使いやすい施設仕様
（車いす利用者も使いやすい水飲み・遊具、利用案内サインの多言語対応・ピクトサイン、出入口部への点字ブロックなど）

【ゾーニング案】

✓ コンセプト案及び整備方針にもとづく「ゾーニング案」を作成



※ゾーニングとは … 公園敷地内の空間を用途・機能ごとに一定の範囲にわけること

○多機能広場ゾーン

✓日常利用（遊び・休憩）と災害時（一時避難等）の場面で使い分けが可能な小広場を配置する。
✓日常利用では、小広場空間の機能を妨げないように、遊具やベンチ等を配置する。

○みどりゾーン

✓ 隣接民地に配慮し、緩衝と延焼防止機能を果たすみどりを配置する。
✓ 四季の彩りやいきものを誘引する植栽で、景観と生物多様性に配慮する。

○エントランスゾーン

✓ 見通しを確保し、日常・災害時のどちらも使いやすくするため、２箇所の出入口を配置する。
✓ 車いすが通りやすいようにユニバーサルデザイン（幅・段差等）に配慮する。

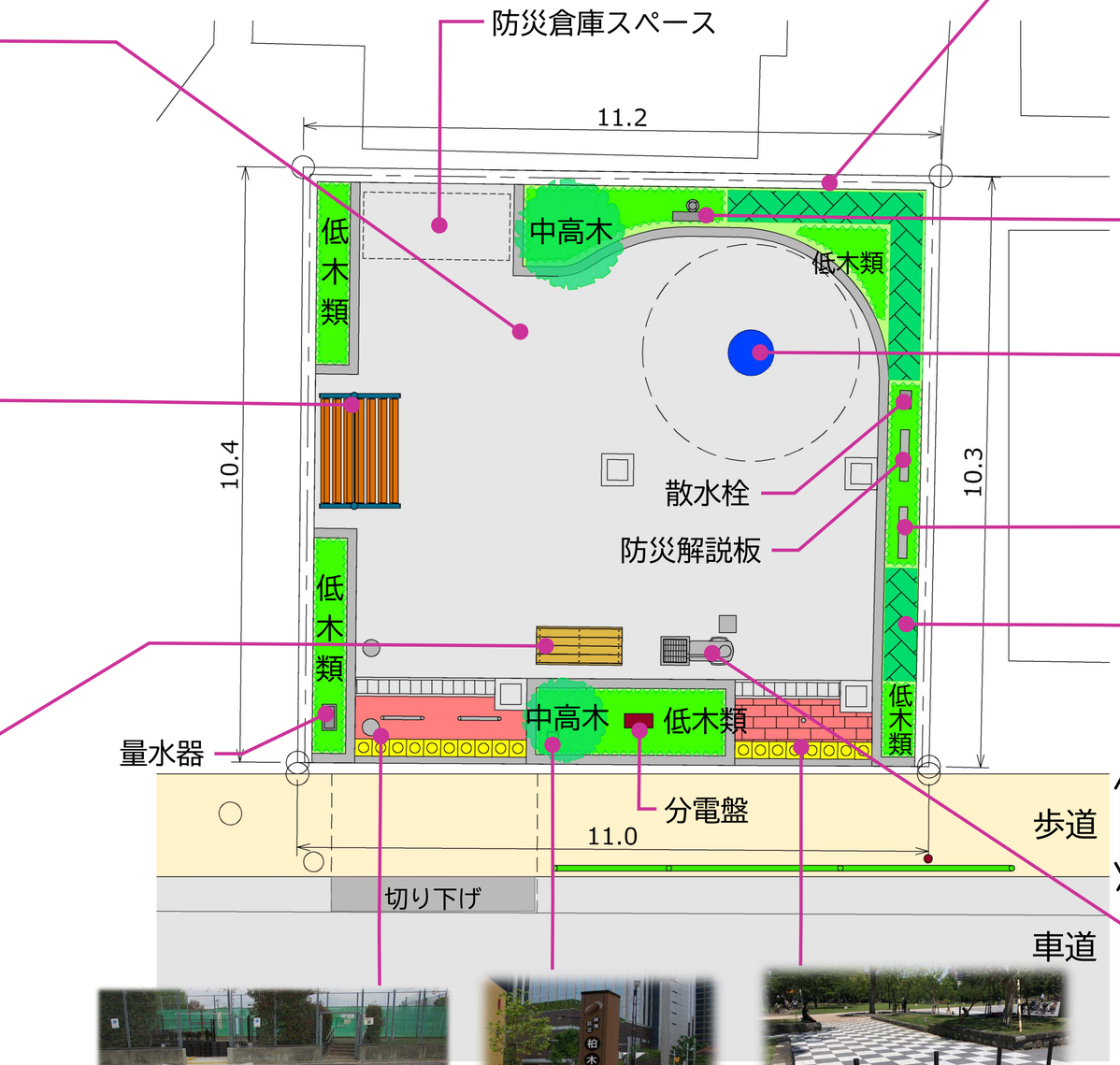
➤ 計画平面図(案)

小広場

パーゴラベンチ

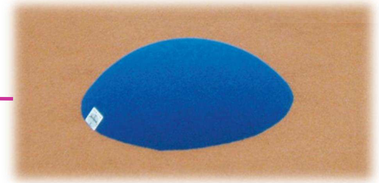
かまどベンチ

低木類イメージ



フェンス(敷地外周部)

時計付き照明灯

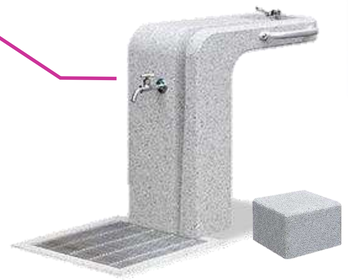


ゴム製遊具

制札板

生垣イメージ

中高木イメージ
(いきものや四季)



水飲み

エントランスイメージ①
(サイン付き車止め+点字シート)

園名柱

エントランスイメージ②
(ポール型車止め+点字シート)

S=1:50

0 5 10 15m

➢ 3Dイメージ

上記の3Dイメージは、こちらのQRコードから
WEB上でもご覧いただけます！
10/6まで公開しております！

➤ ご来場いただいた方のご意見

S=1:25